

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 古墳時代

名前

得点

/10

問1 5世紀初めから約1世紀の間にわたって行われた、ヤマト王権の外交活動に関する記述として正しいものはどれですか。（2024年

山口公立入試 類似）

- 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている
- 中国の魏の歴史書に、女王が金印を授かり親魏倭王の称号を得た記録が残されている
- 小野妹子が使者として派遣され、中国の皇帝に対して対等な形式の国書を渡した
- 唐へ渡った留学生たちが、帰国後に大化の改新の政治改革を主導する役割を担った

問2 鳥取県内最大級の北山古墳が築造された400年頃（5世紀）の、日本と中国の関係について述べた記述として正しいものはどれですか。（2017年 鳥取公立入試 類似）

- 倭王たちが中国の王朝へ使節を送り、自らの地位を正式に認めさせることで、国内での権威や統治の正当性を高めようとした。
- 邪馬台国の女王である卑弥呼が魏の皇帝に使節を送り、親魏倭王の称号とともに金印や銅鏡を授かった。
- 小野妹子が遣隋使として中国へ派遣され、中国の皇帝と対等な外交関係を結ぶことで、東アジアにおける独立性を保とうとした。
- 平城京を中心とした律令政治が行き詰まったため、中国との公的な外交を断絶し、地方独自の勢力が古墳を築いた。

問3 大阪府堺市に位置し、三重の堀に囲まれた巨大な鍵穴のような形状を持つ、日本最大級の面積を誇る古墳の名称として正しいものを選びなさい。（2018年 長崎県公立入試 類似）

- 大仙（大仙陵）古墳
- 稲荷山古墳
- 江田船山古墳
- 高松塚古墳

問4 古墳時代、朝鮮半島や中国から日本列島へ移り住んだ渡来人によって伝えられたもので、日本における記録や公文書作成の基礎となった文字を次の中から選びなさい。（2019年 岡山公立入試 類似）

- 漢字
- ひらがな
- カタカナ
- ローマ字

問5 5世紀の朝鮮半島にある伽耶（加羅）地域から大和政権が得ていた資源で、武人の埴輪に見られるような鎧や武器の材料となり、政権の武力強化に大きく貢献した金属は何ですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）

- 鉄
- 銅
- 青銅
- 金

問6 古墳時代の和政権において、朝鮮半島や中国から渡来した人々（渡来人）が果たした役割や、彼らがもたらした文化的な影響について述べた文として正しいものはどれですか。（2024年 群馬公立入試 類似）

- 和政権で外交や財政管理に従事し、仏教などの新しい文化や技術を伝えた
- 稲作を初めて日本に伝え、各地に高床倉庫を持つ集落を形成させた
- 銅鐸や銅剣などの青銅器を用いた祭祀を広め、巨大な前方後円墳を築いた
- 狩猟や採集に代わる新しい生活様式として、磨製石器の製作技術を広めた

問7 5世紀後半のヤマト王権の勢力範囲を知る手がかりとして、熊本県の江田船山古墳から出土した銀象嵌の銘文を持つ鉄刀があります。この鉄刀に記されている、当時の王権の中心人物を指す名称として正しいものはどれですか。（2022年 福島県公立入試 類似）

- ワカタケル大王
- 志賀島の金印の主
- 卑弥呼
- 聖徳太子

問8 埼玉県の稲荷山古墳から出土した、表面に「獲加多支鹵大王（ワカタケル大王）」という文字が金色の象嵌で刻まれた遺物について、その名称として正しいものを選んでください。（2021年 大阪公立入試 類似）

- 鉄剣
- 銅鏡
- 埴輪
- 金印

問9 古墳時代、朝鮮半島から日本列島に移り住んだ人々によって、新たな土器の製作技術が伝えられました。専用の窯（かま）を用いて高温で焼成されることで、それまでの土器に比べて非常に硬く、色が灰色をしていることが特徴の土器を何と呼びますか。（2018年 長崎県公立入試 類似）

- 縄文土器
- 弥生土器
- 須恵器
- 土師器

問10 5世紀のヤマト王権の王たちが中国の皇帝に使節を送り、国内の支配権を認めさせていた時期の文化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 三重公立入試 類似）

- 古墳の頂上や周囲に埴輪が並べられ、王の権威の高さや葬儀の様子を表現した。
- 魔除けや安産を願う呪術的な道具として、土偶が盛んに作られて集落の近くに置かれた。
- 仏教の伝来にともない、大規模な寺院の建立とともに数多くの仏像が安置された。
- 稲作の豊作を祈るための祭礼の道具として、青銅で作られた銅鐸が用いられた。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている	5世紀、ヤマト王権は当時の中国の南朝（宋など）へ朝貢を行っていました。中国の歴史書には、讃・珍・済・興・武という5人の王が記録されており、彼らが軍事的な称号や政治的地位を求めていたことが記されています。他の選択肢は、3世紀の邪馬台国、7世紀の遣隋使、あるいは7世紀以降の遣唐使に関する内容であり、時代背景が異なります。
問2	<b>答え 1</b> 倭王たちが中国の王朝へ使節を送り、自らの地位を正式に認めさせることで、国内での権威や統治の正当性を高めようとした。	4世紀から5世紀にかけて、日本各地で大規模な前方後円墳が築造された時期は、近畿地方を中心とする大王（王権）が勢力を広げていた時期に重なります。この頃の倭王は、中国の王朝に貢ぎ物を届けて「倭王」としての称号を得ることで、その強大な権力を国内外に示しました。これは1世紀に奴国の王が金印を授かった頃に比べ、より広域で組織的な統治が始まっていたことを示しています。
問3	<b>答え 1</b> 大仙（大仙陵）古墳	堺市にあるこの古墳は、仁徳天皇の墓とも伝えられている日本最大の前方後円墳です。三重の堀に囲まれたその巨大な規模は、当時の大王（おおきみ）が持っていた強大な権力を物語っています。
問4	<b>答え 1</b> 漢字	古墳時代に大陸の進んだ技術や文化を持った人々（渡来人）が日本列島へ移住した際、儒教や仏教とともに伝えられたのが漢字です。これにより、それまで文字を持たなかった日本において、出来事の記録や政治的な文書の作成が可能となりました。ひらがなやカタカナは、後にこの漢字を崩したり、一部を取ったりすることで日本独自の文字として発展したものです。
問5	<b>答え 1</b> 鉄	大和政権は、朝鮮半島の南部に位置する伽耶（加羅）地域から鉄資源を安定的に確保し、それを用いて高度な武器や鎧を製造しました。当時の古墳から出土する武人の埴輪が鎧をまとっていることから、この金属が軍事力の象徴であったことがわかります。これにより、政権は軍事的な優位を築きました。
問6	<b>答え 1</b> 大和政権で外交や財政管理に従事し、仏教などの新しい文化や技術を伝えた	朝鮮半島や中国から日本に移り住んだ渡来人は、当時の先進的な知識を持っていたため、大和政権において外交文書の作成や財政の記録・管理といった重要な実務を担いました。彼らを通じて、6世紀の百済からの仏教伝来に代表されるような、大陸の新しい学問、宗教、技術が日本に定着し、国家の仕組みが整えられていきました。
問7	<b>答え 1</b> ワカタケル大王	江田船山古墳から出土した鉄刀に刻まれた「ワカタケル大王」は、中国の歴史書に記された「倭王武」や、日本の『記紀』に登場する雄略天皇にあたりと考えられています。この名称が刻まれた遺物が、九州（江田船山古墳）と関東（稲荷山古墳）の両方から発見されたことは、広域な支配体制の確立を裏付ける歴史的な発見となりました。
問8	<b>答え 1</b> 鉄剣	稲荷山古墳から出土したこの鉄剣には、115文字に及ぶ漢字が刻まれており、当時の政治状況や文字の使用状況を知る一級の史料となっています。刻まれた「獲加多支鹵大王」は、日本書紀や古事記に登場する雄略天皇を指すと考えられています。
問9	<b>答え 3</b> 須恵器	古墳時代、朝鮮半島から移住した渡来人によって、穴窯（あながま）を用いた最新の作陶技術がもたらされました。従来の土師器（はじき）が野焼きで焼かれる赤褐色の土器であったのに対し、須恵器は1000度以上の高温で焼成されるため、実用性が高い硬質な土器として普及しました。
問10	<b>答え 1</b> 古墳の頂上や周囲に埴輪が並べられ、王の権威の高さや葬儀の様子を表現した。	5世紀は「倭の五王」が中国の南朝へ使いを送り、政治的な地位を確立しようとした時代です。この時期の古墳には、円筒埴輪だけでなく、家、武器、人物などをかたどった形象埴輪が並べられ、葬られた者の権威や儀式の様子を示す役割を果たしていました。土偶は縄文時代、銅鐸は弥生時代、寺院建立は飛鳥時代以降の特徴であるため、混同に注意が必要です。

問1 古墳時代を象徴する墓の形式で、円形と方形を組み合わせた鍵穴のような独特の形状を特徴とし、大阪府にある日本最大の規模を誇る大仙古墳（伝仁徳天皇陵）にも採用されている名称を答えなさい。（2025年 島根公立入試 類似）

1. 前方後円墳 2. 前方後方墳 3. 円墳 4. 方墳

問2 世界文化遺産にも登録されている、大阪府の「百舌鳥・古市古墳群」について述べた文として、正しいものはどれか。（2020年 佐賀公立入試 類似）

1. 日本最大の面積を誇る大仙古墳（大山古墳）など、巨大な前方後円墳が含まれている。 2. すべて直径10メートル程度の小さな円墳のみで構成された、庶民のための墓地群である。 3. 仏教が伝来した後に、聖徳太子の命令によって各地の寺院の隣に作られたものである。 4. 東北地方から九州地方にかけての全国各地から、有力な豪族の遺骨を集めて埋葬した場所である。

問3 埼玉県の稲荷山古墳から「ワカタケル大王」の名が刻まれた鉄剣が出土し、また熊本県の江田船山古墳からも同じ大王の名が刻まれた大刀が出土しました。これらの史料から推測できる、5世紀後半の日本列島の状況として最も適切な説明を選びなさい。（2024年 大阪公立入試 類似）

1. ヤマト政権の政治的な支配力が、関東地方から九州地方まで及んでいた。 2. 仏教の教えが全国に広まり、各地の豪族が鉄剣を寺院に奉納していた。 3. 各地域の豪族が独自に強力な軍隊を持ち、ヤマト政権と激しく対立していた。 4. 稲作の技術が伝わったことで、日本列島各地で小国家の統一が始まった。

問4 5世紀頃、日本の王たちが中国の皇帝に使節を送った背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 鳥取公立入試 類似）

1. 中国の皇帝から地位の承認を得ることで、朝鮮半島での軍事的外交関係を有利に進めたり、高度な技術を導入して統治を強固にするため。 2. 遣唐使を廃止することで大陸との交流を制限し、日本独自の国風文化を育むとともに、律令国家の形成を早めるため。 3. 後漢の皇帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かり、九州北部における小国の連合を束ねる権威を確立するため。 4. 仏教を日本に広めるために、中国から高僧を招くとともに、寺院建築や経典などの進んだ文化を公的に導入するため。

問5 5世紀ごろに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、このような大規模な墳墓が築かれた歴史的な背景として最も適切な説明はどれか。（2020年 三重公立入試 類似）

1. 仏教の伝来とともに、死者を弔うために巨大な寺院を建てる習慣が広まったため。 2. ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。 3. 大陸から伝わった稲作の技術を普及させるために、神を祀る祭祀場を各地に作ったため。 4. 各地域の小国が、他国からの侵略を防ぐための軍事的な要塞として築いたため。

問6 古墳時代の日本列島において、大陸から移住した渡来人が果たした役割と、彼らがもたらした文化的影響について述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。（2019年 岡山公立入試 類似）

1. 漢字を伝えることで、ヤマト政権における外交や記録、財政などの実務を支えた。 2. 鉄砲の伝来に寄与し、戦国大名の戦い方や城の構造に劇的な変化をもたらした。 3. 稲作の技術を初めて伝え、狩猟・採集中心の縄文文化から弥生文化への転換を促した。 4. 青銅器を用いた祭祀の道具を伝え、牟弥呼が統治する邪馬台国の成立を助けた。

問7 3世紀ごろの中国大陸では、複数の勢力が対立して覇権を争っていました。この時期、日本の邪馬台国の女王である卑弥呼が使いを送り、「親魏倭王」の称号を授かったとされる国が含まれる時代の名称を選びなさい。（2016年 和歌山公立入試 類似）

1. 三国時代 2. 戦国時代 3. 五代十国時代 4. 南北朝時代

問8 日本の古墳時代にあたる4世紀から6世紀ごろ、朝鮮半島では3つの国家が互いに勢力を競い合っていました。この3つの国家の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。（2024年 滋賀公立入試 類似）

1. 高句麗・百済・新羅 2. 魏・呉・蜀 3. 隋・唐・宋 4. 渤海・高麗・新羅

問9 古墳時代に築かれた、円形と方形を組み合わせた鍵穴のような形状を持つ巨大な墓について、その名称と当時の状況を正しく述べたものはどれですか。（2026年 沖縄公立入試 類似）

1. 名称は前方後円墳であり、ヤマト王権の勢力が及んだ東北地方から九州地方にかけての広い範囲で見られる。 2. 名称は装飾古墳であり、ヤマト王権から独立した九州地方の豪族のみが、独自の文化を示すために築いた。 3. 名称は円墳であり、大和地方から移住した渡来人たちが、故郷の風景を再現するために全国に広めた。 4. 名称は方墳であり、ヤマト王権が全国の土地を直接支配するために、各地の役所の目印として設置した。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 前方後円墳	古墳時代の3世紀後半から6世紀にかけて、近畿地方を中心に日本各地で築かれた墓の形式です。この形式が全国的に広がったことは、大和政権（ヤマト政権）による政治的な支配や影響力が各地に及んでいたことを示す重要な証拠と考えられています。大阪府の堺市にある大仙古墳は、この形式の代表例であり、世界最大級の墳墓として知られています。
問2	<b>答え 1</b> 日本最大の面積を誇る大仙古墳（大山西古墳）など、巨大な前方後円墳が含まれている。	百舌鳥・古市古墳群は、現在の大阪府堺市、羽曳野市、藤井寺市に広がる古墳群です。4世紀後半から5世紀後半にかけて、当時の王権（ヤマト政権）の王たちの墓として築かれました。
問3	<b>答え 1</b> ヤマト政権の政治的な支配力が、関東地方から九州地方まで及んでいた。	遠く離れた関東（埼玉県）と九州（熊本県）の両地域から、同一の大王の名を刻んだ刀剣が見つかったことは、当時のヤマト政権が広範囲の豪族を服属させ、統治下に置いていたことを示す重要な歴史的証拠となっています。単なる交易の証拠ではなく、地方の豪族が大王に仕えていたという政治的な背景を裏付けています。
問4	<b>答え 1</b> 中国の皇帝から地位の承認を得ることで、朝鮮半島での軍事的な外交関係を有利に進めたり、高度な技術を導入して統治を強固にするため。	5世紀の「倭の五王」は、中国の南朝へ繰り返し使節を派遣しました。当時の倭王は、朝鮮半島における軍事的な指揮権を含む称号を中国の皇帝から授かることで、国際的な地位を確立し、周辺諸国との外交を有利に進める狙いがありました。また、これに伴い鉄製武器の製造技術や須恵器などの新しい技術を大陸から導入し、国内の支配力を高めていきました。
問5	<b>答え 2</b> ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。	大仙古墳のような巨大な前方後円墳の建設には、延べ数百万人とも言われる膨大な労働力と長い年月が必要でした。これほど大規模な墓を築くことができた事実は、被葬者である大王が近畿地方を中心として、広範囲にわたる民衆や地方の豪族を統制し、支配下に置いていたことを証明しています。
問6	<b>答え 1</b> 漢字を伝えることで、ヤマト政権における外交や記録、財政などの実務を支えた。	渡来人は文字（漢字）の知識だけでなく、養蚕、機織り、土木技術、須恵器の製作など、当時の日本にはなかった高度な技術を伝えました。特に漢字を用いた文書作成能力は、ヤマト政権（大和朝廷）が組織を運営し、大陸の諸国と外交交渉を行う上で欠かせないものとなりました。鉄砲は16世紀、稲作や青銅器は弥生時代以前に伝わったものであり、時期や内容が異なります。
問7	<b>答え 1</b> 三国時代	3世紀の中国大陸では、魏、呉、蜀の三つの国が並び立ち、互いに勢力を争っていました。この時期を三国時代と呼び、日本の邪馬台国の女王・卑弥呼は、その中の一つである「魏」に使いを送り、金印や銅鏡を授かることで自らの権威を高めようとしていました。
問8	<b>答え 1</b> 高句麗・百済・新羅	朝鮮半島では、北部の高句麗、南西部の百済、南東部の新羅の3校が対立し、抗争を繰り返していました。この情勢は当時の日本（倭）の外交や技術導入にも大きな影響を与え、日本は主に百済や加羅（加耶）の地域と結びついて行動していました。
問9	<b>答え 1</b> 名称は前方後円墳であり、ヤマト王権の勢力が及んだ東北地方から九州地方にかけての広い範囲で見られる。	前方後円墳は、日本独自の古墳形式であり、その分布は北は東北地方から南は九州地方にまで及んでいます。これは、各地の豪族がヤマト王権を中心とする政治秩序に参加していたことを意味します。装飾古墳は内部に彩色や彫刻があるものを指し、円墳や方墳はより一般的な形状ですが、前方後円墳ほどの政治的象徴性は持ちません。また、古墳はあくまで豪族の墓であり、役所の目印ではありません。

問1 古墳時代に、大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築造された歴史的な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 神奈川県公立入試 類似）

- 大和政権（ヤマト政権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。
- 大陸から伝来した仏教の教えに基づき、故人を盛大に供養することで国家の安寧を祈願するため。
- 大規模な稲作の普及により余った土地を、洪水から守るための避難場所として整備するため。
- 海外からの侵略を監視し、防衛するための軍事的な物見櫓や要塞として機能させるため。

問2 4世紀末から5世紀の山口県の古墳から出土した銅鏡の記述など、瀬戸内海の航路の要所に位置する地域から王権に関連する品々が見つかることがあります。この事実から推測される、当時のヤマト政権の地方支配のあり方として正しいものはどれですか。（2024年 山口公立入試 類似）

- 海上交通の要所に位置する豪族と連携し、物流や情報のルートを確保しようとした
- 邪馬台国の女王卑弥呼が中国から受け取った鏡を、瀬戸内海の豪族に再分配した
- 遣隋使を派遣するための寄港地を確保するため、山口県周辺を王権の直轄地とした
- 大陸から伝来した青銅器の製造技術を、農業振興のために全国の農民へ普及させた

問3 世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群には、5世紀頃に造られた日本最大の前方後円墳である大仙古墳が含まれている。このような巨大な古墳が築かれた時代の外交の特徴として、適切なものはどれか。（2020年 香川公立入試 類似）

- 中国の南朝へ使者を送り、自らの地位を認めてもらう活動を行った。
- 中国の北朝へ使者を送り、仏教を公式に伝えるよう要請した。
- 唐へ遣唐使を派遣し、律令に基づく中央集権的な国家体制を導入した。
- 元（モンゴル）からの服属要求を拒否し、九州沿岸の防備を固めた。

問4 古墳時代を象徴する墓の形式で、円形と方形を組み合わせた鍵穴のような独特の形状を特徴とし、大阪府にある日本最大の規模を誇る大仙古墳（伝仁徳天皇陵）にも採用されている名称を答えなさい。（2025年 島根公立入試 類似）

- 前方後円墳
- 前方後方墳
- 円墳
- 方墳

問5 5世紀の倭の王が、中国の歴史書である『宋書』倭国伝において「高句麗が道をふさぎ、邪魔をしています」と皇帝に訴え、「安東大將軍」などの高い称号を得ようとした主な目的として最も適切なものはどれですか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）

- 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、国際的な優位に立つため
- 中国から金銅の仏像を輸入し、日本国内に仏教を広めるための権威を得るため
- 朝鮮半島南部から鉄資源を安定的に輸入するための、独占的な貿易許可を得るため
- 中国の律令制度を導入し、氏族制度を廃止して国内の中央集権化を進めるため

問6 日本最大級の規模を誇る前方後円墳である大仙古墳（大山古墳）が位置する場所として正しいものはどれですか。日本全国をいくつかの地域に分けた際、現在の大阪府堺市が含まれる地方の名称を選択しなさい。（2024年 茨城県公立入試 類似）

- 東北地方
- 関東地方
- 近畿地方
- 九州地方

問7 3世紀ごろの中国大陸の情勢と、当時の日本との関わりについて述べた文として、内容が正しいものを一つ選びなさい。（2016年 和歌山公立入試 類似）

- 魏・呉・蜀の三つの国が分立して争っており、邪馬台国の卑弥呼はそのうちの魏に使いを送った。
- 秦の王が初めて中国を統一して始皇帝と名乗り、日本を含む周辺地域に大規模な軍隊を派遣した。
- 隋が南北に分裂していた中国を統一した時期であり、聖徳太子が小野妹子を派遣して交流を深めた。
- 唐が周辺諸国を従える強大な帝国を築いており、日本からは律令制度を学ぶために遣唐使が送られた。

問8 5世紀後半の大和政権において、最高権力者が名乗った称号は何ですか。埼玉県の稲荷山古墳から出土した金錯銘鉄剣に、「獲加多支鹵」という人名に続けて刻まれている名称を答えなさい。（2019年 長崎県公立入試 類似）

- 大王
- 天皇
- 將軍
- 執権

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。	古墳時代において、巨大な前方後円墳を築くには膨大な年月と膨大な人数の労働力が必要でした。このような大規模な土木工事を行うことができた事実は、その被葬者が広範囲に及び支配権と財力を持っていたことを象徴しています。また、前方後円墳という特定の形式が日本各地に広がったことは、大和政権（ヤマト王権）を中心とした政治的な連合や身分秩序が各地の豪族との間に形成されていたことを示しています。
問2	<b>答え 1</b> 海上交通の要所に位置する豪族と連携し、物流や情報のルートを確認しようとした	ヤマト王権が全国的な影響力を強めるためには、朝鮮半島や中国大陸との外交、あるいは国内の物資輸送に欠かせない海上交通路を掌握することが不可欠でした。山口県のように瀬戸内海沿岸の重要な地点を治める豪族に対し、権威の象徴である銅鏡を与えることで味方につけ、安定した航路の確保と地方への影響力行使を両立させていたと考えられます。なお、卑弥呼の時代は3世紀であり、この問題が扱う4～5世紀とは時代が異なります。
問3	<b>答え 1</b> 中国の南朝へ使者を送り、自らの地位を認めてもらう活動を行った。	大仙古墳に代表される巨大な前方後円墳が造られた5世紀は、大和政権の王（倭王）が自らの権威を内外に示すために、中国の南朝へ朝貢した時期と重なります。この時期の外交は、朝鮮半島での軍事的な立場を強化し、鉄器の材料となる鉄資源の供給源を確保することが大きな目的の一つでした。
問4	<b>答え 1</b> 前方後円墳	古墳時代の3世紀後半から6世紀にかけて、近畿地方を中心に日本各地で築かれた墓の形式です。この形式が全国的に広がったことは、大和政権（ヤマト王権）による政治的な支配や影響力が各地に及んでいたことを示す重要な証拠と考えられています。大阪府の堺市にある大仙古墳は、この形式の代表例であり、世界最大級の墳墓として知られています。
問5	<b>答え 1</b> 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、国際的な優位に立つため	5世紀、いわゆる「倭の五王」は中国の南朝（宋など）に使者を送り、皇帝から「將軍号」などの称号を授けられました。これは国内での支配権を固めるだけでなく、当時対立していた高句麗に対抗するため、朝鮮半島における軍事的な指揮権を国際的に認めさせ、外交上の軍事的優位を確保する狙いがありました。
問6	<b>答え 3</b> 近畿地方	5世紀頃、現在の大阪府や奈良県などを含む近畿地方を中心に、巨大な前方後円墳が数多く造られました。大仙古墳は、当時の大和政権（ヤマト王権）の首長である大王の権力を象徴するものであり、現在の大阪府堺市に位置しています。
問7	<b>答え 1</b> 魏・呉・蜀の三つの国が分立して争っており、邪馬台国の卑弥呼はそのうちの魏に使いを送った。	中国の歴史書『魏志』倭人伝には、3世紀の中国が魏・呉・蜀の三国に分かれて争っていたこと、そして日本の卑弥呼が魏の皇帝から称号を授かったことが記されています。他の選択肢にある秦による統一は紀元前3世紀、隋による統一は6世紀末、唐との交流は7世紀以降の出来事であり、時期が異なります。
問8	<b>答え 1</b> 大王	5世紀の大和政権の盟主は「大王（おおきみ）」と呼ばれていました。埼玉県の新井山古墳から出土した鉄剣には、雄略天皇にあたとされる「獲加多支鹵（ワカタケル）」の名とともにこの称号が刻まれており、当時の政治体制を示す貴重な史料となっています。天皇という称号が使われ始めるのは、さらに後の7世紀後半（飛鳥時代）になってからです。

問1 4世紀から7世紀頃、大陸から日本列島へ移住した人々が大和政権の成長や社会の発展に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 山形公立入試 類似）

- 須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝え、政権の組織づくりや文化の発展に大きく貢献した。
- 稲作の技術を初めて日本に伝え、狩猟や採集を中心とした社会から定住社会への転換を促した。
- 遣隋使や遣唐使として大陸に派遣され、最新の政治制度を学んで帰国した後に律令国家の建設を主導した。
- 九州沿岸の警備にあたる防人として任命され、大陸からの侵攻を防ぐ軍事的な役割を専門に担った。

問2 大阪府の百舌鳥・古市古墳群に含まれる、三重の濠が巡らされた日本最大の前方後円墳の名称と、それが登録されているユネスコの区分の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）

- 大仙古墳（世界文化遺産）
- 大仙古墳（世界自然遺産）
- 五色塚古墳（世界文化遺産）
- 箸墓古墳（世界文化遺産）

問3 大阪府の「百舌鳥・古市古墳群」に代表される、5世紀ごろに築かれた巨大な前方後円墳についての説明として最も適切なものはどれですか。（2024年 熊本県公立入試 類似）

- 大和政権の最高権力者である大王（おおきみ）の強大な権力を示すものである
- 鎌倉幕府の将軍が自らの権威を示すために仏教の教えに基づいて建立したものである
- 律令国家の成立後に、地方を治めるために任命された国司の墓として造られたものである
- 北条氏が執権としての地位を確立するために、各地の武士に命じて造らせたものである

問4 群馬県の綿貫観音山古墳から出土した資料などに見られる、灰色で硬く焼き締められた土器の製作上の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2021年 群馬県公立入試 類似）

- 朝鮮半島から伝わった技術を使い、穴窯の中で酸素を制限しながら高温で焼かれた
- 日本列島で古くから用いられてきた伝統的な技法で、野外で比較的低い温度で焼かれた
- 稲作が普及し始めた時期に、表面に縄目の文様をつけてから乾燥させて焼かれた
- 中国大陸の青銅器の影響を強く受け、表面に複雑な幾何学文様を彫り込んで焼かれた

問5 中国の歴史書『宋書』倭国伝には、5世紀に中国の南朝へ相次いで使者を送り、自身の地位を認める称号を求めた「讚・珍・済・興・武」という5人の王が登場します。これらの王を総称して何と呼びますか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）

- 倭の五王
- ヤマトの大王
- 遣隋使
- 渡来人

問6 ヤマト王権の王たちが「倭の五王」として中国の南朝へ繰り返し使節を送り、当時の国際社会において自らの地位を誇示しようとした主な背景と目的として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 栃木公立入試 類似）

- 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、外交を有利に進めるため
- 最澄などの僧を派遣し、仏教を日本へ正式に導入するための許可を得るため
- 大陸から稲作の技術を導入し、国内の食料生産を安定させるための指導を仰ぐため
- 坂上田村麻呂を派遣して東北地方を制圧するために、強力な武器の支援を求めるため

問7 3世紀後半から古墳時代にかけて造られた、円形の後円部と方形（四角形）の前方部を組み合わせた、上空から見ると鍵穴のような形をしている古墳の名称を答えなさい。（2018年 長崎県公立入試 類似）

- 前方後円墳
- 円墳
- 方墳
- 積石塚

問8 5世紀ごろ、現在の大阪府や奈良県を中心とした勢力であるヤマト王権が、九州から関東地方に至る広い範囲に影響力を及ぼしていたことが、各地の出土品から判明しています。埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には、当時のヤマト王権の首長を指すどのような称号が刻まれていましたか。（2015年 岡山公立入試 類似）

- 大王
- 執権
- 天皇
- 将軍

問9 5世紀頃、大和政権は近畿地方から遠く離れた地域まで勢力を拡大しました。各地の有力者の墓（古墳）から、当時の王の名称が刻まれた鉄剣や鉄刀が発見されている事実は、当時の政治体制についてどのようなことを示していますか。その説明として最も適切なものを選びなさい。（2017年 愛知県公立入試 類似）

- 地方の有力者が、大和政権を介さず独自に大陸と外交を行っていたこと
- 大和政権の権力が、九州から関東に及ぶ広い地域の有力者に及んでいたこと
- 仏教の伝来によって、全国の有力者が同じ信仰を持つようになったこと
- 征夷大將軍が派遣され、東北地方まで完全に平定されたこと

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝え、政権の組織づくりや文化の発展に大きく貢献した。	移住した人々は、須恵器の製作、金属器の加工、養蚕、織物といった実用的な技術だけでなく、漢字や仏教、儒教といった学問や宗教も伝えました。これらの知識や技術は、大和政権が国内を統治するための公文書作成や、国家としての権威を高めるための寺院建築などに活用され、古代日本の国家形成において不可欠な役割を果たしました。なお、稲作の伝来は弥生時代、防人の制度は7世紀後半の白村江の戦い以降に本格化したものです。
問2	<b>答え 1</b> 大仙古墳（世界文化遺産）	5世紀の古墳時代中期に築造された大仙古墳は、全長約486メートルを誇る日本最大の古墳です。その圧倒的な規模と独特な形状は、当時のヤマト政権の強力な支配力を示すものと考えられています。2019年には、周辺古墳とともに「百舌鳥・古市古墳群」としてユネスコの世界文化遺産に登録されました。
問3	<b>答え 1</b> 大和政権の最高権力者である大王（おおきみ）の強大な権力を示すものである	「百舌鳥・古市古墳群」に含まれる大山古墳（伝仁徳天皇陵）のような巨大な古墳の造営には、膨大な数の労働者と高度な土木技術、そしてそれらを統制する強力な組織力が必要でした。これは大和政権の最高権力者である「大王」が、広範囲にわたる豪族や民衆を支配下に置いていたことを証明する歴史的背景を持っています。
問4	<b>答え 1</b> 朝鮮半島から伝わった技術を使い、穴窯の中で酸素を制限しながら高温で焼かれた	群馬県の綿貫観音山古墳から出土したような灰色の硬質な土器は須恵器と呼ばれます。これは5世紀頃に朝鮮半島から伝来した技術で、斜面に作った穴窯を使用することで、野焼きでは不可能な1000度以上の高温状態を保って焼成されました。この製法によって粘土が焼き締まり、金属のような硬さを持つ土器が誕生しました。
問5	<b>答え 1</b> 倭の五王	5世紀に中国へ使者を送った5人の王は「倭の五王」と呼ばれます。当時の日本（倭国）は、東アジアの国際情勢の中で有利な立場を得るため、中国皇帝を中心とした冊封体制（朝貢外交）に加わり、自らの権威や軍事的な指揮権を証明する称号（官職）を求めて外交を展開しました。
問6	<b>答え 1</b> 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、外交を有利に進めるため	5世紀の東アジアでは、朝鮮半島の高句麗、百濟、新羅などが勢力を争っていました。ヤマト王権は、中国の皇帝から「安東大將軍」といった軍事的な指揮権を含む称号を授かることで、朝鮮半島南部における自国の影響力を国際的に正当化しようとしていました。これは、当時の日本が朝鮮半島の鉄資源や先進技術を確保するために、外交的な優位性を必要としていたという背景に基づいています。
問7	<b>答え 1</b> 前方後円墳	古墳時代を代表する墓の形式であり、円形と方形を組み合わせた独特の形状が特徴です。当時の有力者の権力の大きさを示す象徴として、近畿地方を中心に全国各地へ広がりました。
問8	<b>答え 1</b> 大王	5世紀後半のヤマト王権（大和朝廷）の首長は「大王（おおきみ）」と呼ばれていました。埼玉県の新荷山古墳や熊本県の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀には、「ワカタケル大王」などの銘文が刻まれており、近畿地方を中心とするヤマト王権の支配が、既に関東から九州まで及んでいたことを示す重要な歴史的証拠となっています。
問9	<b>答え 2</b> 大和政権の権力が、九州から関東に及ぶ広い地域の有力者に及んでいたこと	大和政権は、軍事的な力や外交力を背景に地方の首長たちと主従関係を結び、自身の統治体制に組み込んでいきました。有力者の墓から出土した銘文入りの鉄剣などは、地方首長が大和政権に従う代わりに、その土地の支配権を保証されたという政治的な結びつきを証明するものです。これにより、当時の日本列島において広域的な政治連合が形成されていたことがわかります。

問1 古墳時代に築かれた、円形と方形を組み合わせた鍵穴のような形状を持つ巨大な墓について、その名称と当時の状況を正しく述べたものはどれですか。（2026年 沖縄公立入試 類似）

1. 名称は前方後円墳であり、ヤマト王権の勢力が及んだ東北地方から九州地方にかけての広い範囲で見られる。
2. 名称は装飾古墳であり、ヤマト王権から独立した九州地方の豪族のみが、独自の文化を示すために築いた。
3. 名称は円墳であり、大和地方から移住した渡来人たちが、故郷の風景を再現するために全国に広めた。
4. 名称は方墳であり、ヤマト王権が全国の土地を直接支配するために、各地の役所の目印として設置した。

問2 巨大な前方後円墳が各地で盛んに造られていた古墳時代の5世紀ごろ、ヤマト王権の王たちは、自らの地位を国際的に認めさせるために中国の王朝へ使節を送りました。このとき、倭の五王が朝鮮半島での軍事的な指揮権などを認めてもらうために交渉を行った相手は、当時の中国のどの勢力ですか。（2024年 栃木公立入試 類似）

1. 中国の南朝
2. 唐
3. 隋
4. 漢

問3 古代日本における漢字の伝来とその影響について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。大陸から移住してきた人々の活動や、宗教的な背景を踏まえて選びなさい。（2026年 神奈川公立入試 類似）

1. 渡来人が仏教の経典とともに漢字を伝え、日本人が公的な記録や情報の伝達を行う手段として定着した。
2. 聖徳太子が大陸へ渡った際、現地で使われていた文字を日本独自の文字として持ち帰り、仏教の布教に用いた。
3. 縄文時代の交易を通じて大陸の文字が広まり、その後、仏教を理解するための補助的な記号として漢字が発明された。
4. 平安時代の貴族が、仏教の教えを分かりやすく書き換えるために、漢字をもとにして日本で初めて文字を作成した。

問4 古墳時代において、特定の地域に限定されず、全国各地で大規模な前方後円墳が築造されたという事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。最も適切な説明を選びなさい。（2018年 大分県公立入試 類似）

1. 大和政権を中心とした政治的な連合や服属関係が、各地の豪族との間に結ばれていたこと。
2. 各地の豪族が、大陸から伝わった最新の墓制を競い合うようにして独自に導入したこと。
3. 仏教の影響が全国に及び、共通の儀礼に基づいた埋葬方法が庶民にまで普及したこと。
4. 狩猟・採集中心の社会から、稲作を中心とする平等な共同体へと社会が変化したこと。

問5 5世紀頃、日本の王たちが中国の皇帝に使節を送った背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 鳥取公立入試 類似）

1. 中国の皇帝から地位の承認を得ることで、朝鮮半島での軍事的外交関係を有利に進めたり、高度な技術を導入して統治を強固にするため。
2. 遣唐使を廃止することで大陸との交流を制限し、日本独自の国風文化を育むとともに、律令国家の形成を早めるため。
3. 後漢の皇帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かり、九州北部における小国の連合を束ねる権威を確立するため。
4. 仏教を日本に広めるために、中国から高僧を招くとともに、寺院建築や経典などの進んだ文化を公的に導入するため。

問6 3世紀後半から古墳時代にかけて造られた、円形の後円部と方形（四角形）の前方部を組み合わせた、上空から見ると鍵穴のような形をしている古墳の名称を答えなさい。（2018年 長崎県公立入試 類似）

1. 前方後円墳
2. 円墳
3. 方墳
4. 積石塚

問7 埼玉県の稲荷山古墳から「ワカタケル大王」の名が刻まれた鉄剣が出土し、また熊本県の江田船山古墳からも同じ大王の名が刻まれた大刀が出土しました。これらの史料から推測できる、5世紀後半の日本列島の状況として最も適切な説明を選びなさい。（2024年 大阪公立入試 類似）

1. ヤマト政権の政治的な支配力が、関東地方から九州地方まで及んでいた。
2. 仏教の教えが全国に広まり、各地の豪族が鉄剣を寺院に奉納していた。
3. 各地域の豪族が独自に強力な軍隊を持ち、ヤマト政権と激しく対立していた。
4. 稲作の技術が伝わったことで、日本列島各地で小国家の統一が始まった。

問8 古墳時代、朝鮮半島から日本列島に移り住んだ人々によって、新たな土器の製作技術が伝えられました。専用の窯（かま）を用いて高温で焼成されることで、それまでの土器に比べて非常に硬く、色が灰色をしていることが特徴の土器を何と呼びますか。（2018年 長崎県公立入試 類似）

1. 縄文土器
2. 弥生土器
3. 須恵器
4. 土師器

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 名称は前方後円墳であり、ヤマト王権の勢力が及んだ東北地方から九州地方にかけての広い範囲で見られる。	前方後円墳は、日本独自の古墳形式であり、その分布は北は東北地方から南は九州地方にまで及んでいます。これは、各地の豪族がヤマト王権を中心とする政治秩序に参加していたことを意味します。装飾古墳は内部に彩色や彫刻があるものを指し、円墳や方墳はより一般的な形状ですが、前方後円墳ほどの政治的象徴性は持ちません。また、古墳はあくまで豪族の墓であり、役所の目印ではありません。
問2	<b>答え 1</b> 中国の南朝	古墳時代の5世紀、ヤマト王権（倭国）の「讃・珍・濟・興・武」という5人の王（倭の五王）は、当時の中国で南側に成立していた「南朝」の諸王朝（宋など）へ使節を送りました。これは、中国の皇帝から称号を得ることで、国内での支配権を固めるとともに、朝鮮半島における政治的・軍事的な立場を他国に対して有利に進める狙いがありました。
問3	<b>答え 1</b> 渡来人が仏教の経典とともに漢字を伝え、日本人が公的な記録や情報の伝達を行う手段として定着した。	朝鮮半島や中国大陸から移住した渡来人によって、漢字は仏教の経典とともに日本に伝えられました。当時、文字を持たなかった日本列島の人々は、これを受け入れることで歴史の記録や公的な文書の作成、そして宗教の理解を深めることが可能になり、日本の文明化に大きな影響を与えました。
問4	<b>答え 1</b> 大和政権を中心とした政治的な連合や服属関係が、各地の豪族との間に結ばれていたこと。	前方後円墳という日本独自の特定の形式が列島の広い範囲に普及したことは、それらの地域が「大和政権」を中心とする政治秩序の中に組み込まれていたことを意味します。共通の墓の形を採用することは、大和の王との結びつきを周囲に示す重要な手段でもありました。
問5	<b>答え 1</b> 中国の皇帝から地位の承認を得ることで、朝鮮半島での軍事的な外交関係を有利に進めたり、高度な技術を導入して統治を強固にするため。	5世紀の「倭の五王」は、中国の南朝へ繰り返し使節を派遣しました。当時の倭王は、朝鮮半島における軍事的な指揮権を含む称号を中国の皇帝から授かることで、国際的な地位を確立し、周辺諸国との外交を有利に進める狙いがありました。また、これに伴い鉄製武器の製造技術や須恵器などの新しい技術を大陸から導入し、国内の支配力を高めていきました。
問6	<b>答え 1</b> 前方後円墳	古墳時代を代表する墓の形式であり、円形と方形を組み合わせた独特の形状が特徴です。当時の有力者の権力の大きさを示す象徴として、近畿地方を中心に全国各地へ広がりました。
問7	<b>答え 1</b> ヤマト政権の政治的な支配力が、関東地方から九州地方まで及んでいた。	遠く離れた関東（埼玉県）と九州（熊本県）の両地域から、同一の大王の名を刻んだ刀剣が見つかったことは、当時のヤマト政権が広範囲の豪族を服属させ、統治下に置いていたことを示す重要な歴史的証拠となっています。単なる交易の証拠ではなく、地方の豪族が大王に仕えていたという政治的な背景を裏付けています。
問8	<b>答え 3</b> 須恵器	古墳時代、朝鮮半島から移住した渡来人によって、穴窯（あながま）を用いた最新の作陶技術がもたらされました。従来の土師器（はじき）が野焼きで焼かれる赤褐色の土器であったのに対し、須恵器は1000度以上の高温で焼成されるため、実用性が高い硬質な土器として普及しました。